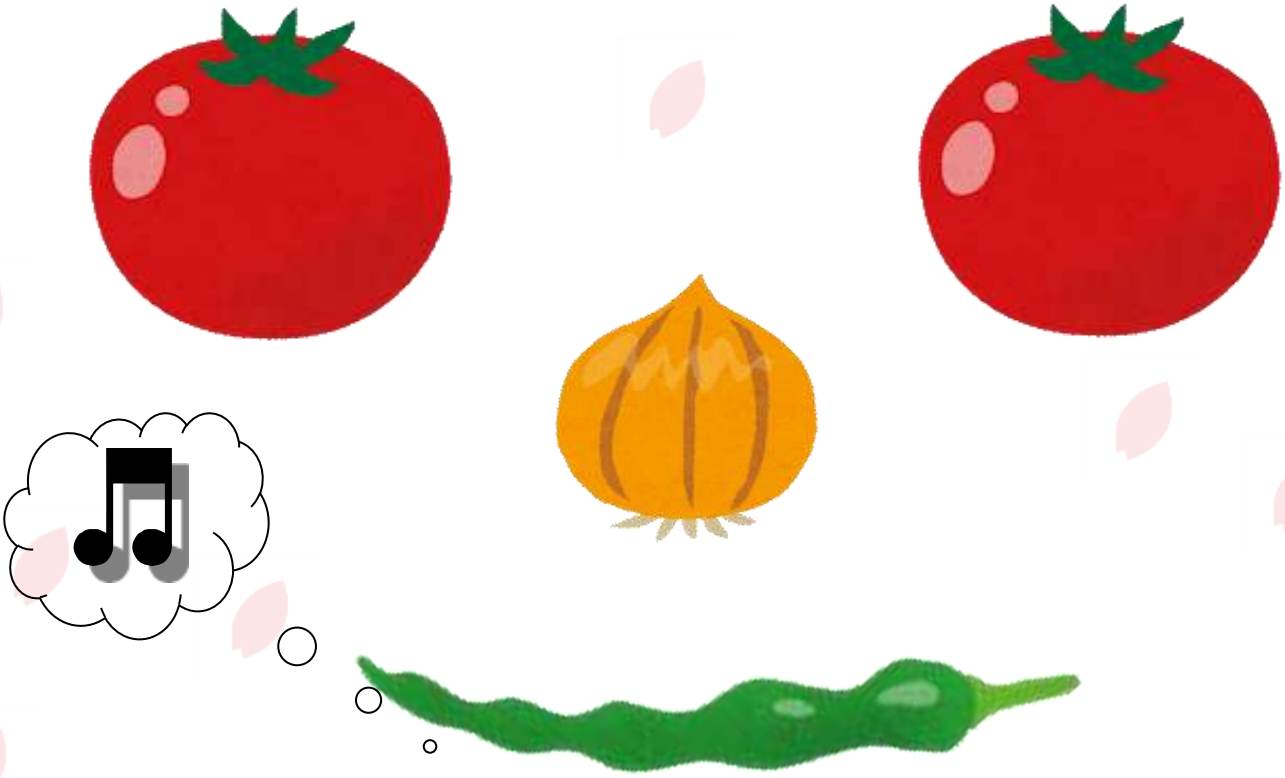
第 14回

「♪音のあふれる町・関町♪」
関町音楽フェスティバル



平成３１年3月2日（土）pm1：30～4：00

会場 ： 練馬区立関町福祉園ホール

主催 ： 関町音楽フェスティバル実行委員会

関町音楽フェスティバルのご案内

「顔の見える地域の福祉づくり」の実践を共通の目的とし、地域で活動する団体、個人が手をつなぐ「しあわせ福祉ネット・関」というネットワークがございます。その中で地域の方たちと一緒に楽しめる音楽会の企画プロジェクトチームが立ち上がり、ご高齢の方、障がいのある方、子供たち、地域の人たち皆様が共に歌い音楽を楽しみ、そして知り合う機会を作れると同時に「音のある町」を目指す「関町音楽フェスティバル」が誕生しいたしました。以来“～音のある町・関町　音でつなげる地域の輪～”を目指して活動を続けてまいりました。

おかげさまで今年１４年目を迎えることとなりました。これまでご支援・ご協力を賜りました出演者の皆様、地域の福祉団体・福祉施設・住民の皆様、スタート時から会場・実行委員として協力を頂いています関町福祉園様へ心より感謝申し上げます。

これからも「音のある町」を目指し活動をしてまいりますので、なにとぞ引続きのご支援・ご協力を宜しくお願い致します。

関町音楽フェスティバル実行委員長

練馬区立関町福祉園

- 地域の多くの皆様との出会いを大切にしたいと考え、ボランティアさんを募集しています。
- 自主製品として石けん、ビーズ、レジン、缶バッチなどを販売しています。

練馬区関町南３－１５－３５
☎　３５９４－０２１７

ごあいさつ

本日は、関町音楽フェスティバルにお越し下さいまして有り難うございます。おかげさまで、今年で１４回目の開催となりました。

今回もこの関町福祉園ホールで、いつもご出演いただいています関町囃子保存会と関中ウィンドアンサンブル部の皆様はじめ、今回は今井忠子さんのマリンバ演奏を企画致しました。マリンバの素敵な音色を楽しんで頂きたいと思います。

出演者も子どもから高齢の方までと幅広く、みんな元気いっぱいです。どうぞ午後のひと時を音にふれ合い、聴いて、歌って、お楽しみください。

平成３１年３月２日

関町音楽フェスティバル

実行委員会

♪プログラム♪

開会挨拶　　関町福祉園　父母の会
　　会長　伊集院　直子

☆関町囃子保存会（神楽囃子）
　　代表　桜井　輝久

☆今井忠子(マリンバ)　平澤恒子（ピアノ）

・「道化師のギャロップ」ひなまつり

・ウィリアムテル序曲（ロッシーニ）

・G 線上のアリア（J,S・バッハ）

・ハンガリア舞曲第６番（ブラームス）

・ドナウ河のさざ波（イワノヴィッチ）

日本の調べ

・春の海　　（宮城道雄）

・荒城の月変奏曲　（滝　廉太郎）

みなさん一緒に歌いましょう♪

・森の水車（クラベス）

・どこかで春が

休憩15分

「やすらぎの杜」のパンやクッキー、関町福祉園の石けん・缶バッチ・レジンなどの販売があります。

☆関中ウインドアンサンブル部（吹奏楽）

指揮　林　麻弥

- 西郷どん
- 童謡メドレー
- ふるさと
- うれしいひなまつり
- 明日があるさ
- 上を向いて歩こう
- 残酷な天使のテーゼ

閉会挨拶　　関町福祉園　園長　中村　哲明

関町音楽フェスティバル
実行委員会委員長　　須藤 朔宏

全員合唱　　今日の日はさようなら

出演者からのメッセージ・プロフィール

今井　忠子（いまい　ただこ）

　女子学院・中学・高校卒、国立音楽大学打楽器科専攻卒業。「マリンバ演奏を楽しむ会」を主宰し、ソリストとして又、アンサンブルで誰もが親しめるクラシック・ポピュラー。日本の名曲・調べ等のプログラムで国内外で演奏活動。「今井忠子となじょん jo’音楽仲間」で草の根コンサート（ハンガリー・マレーシア・インドネシア他）をしている。`８８年より「すべての子ども達に教育を」のチャリティーこんさぁとを続け毎年フィリピンに寄付。音楽で生き活き、「ケア音楽実践ドルツェの会」を主宰し、ボランティア活動を年１５０日以上続けている（老健、デイサービス、特養、障害者施設、２０１０年東京都社会福祉協議会）より感謝状を授与。錦城高校吹奏楽部、小平市の放課後子ども教室他指導。公民館で毎月「演奏を見て聴いて、音楽を共に喜びあえるにこにこコンサート」を続けている。

平澤　恒子（ひらさわ　つねこ）

　神戸女子学院大学英文科卒。「今井忠子となじょん jo 音楽仲間」のピアノ伴奏者としてハンガリー演奏に参加。又、各方面で演奏。
　「ケア音楽実践ドルツェの会」のボランティア活動参加。三鷹、武蔵野市でコーラス、アカペラ及び伴奏者として活動。

関町囃子保存会

　幕末から明治へと大きく変革する明治４年、青梅街道に接して栄えていた関村では、鎮守である天祖若宮八幡宮の祭礼の結束と娯楽をかねて、当時井草村の鎮守井草八幡宮で活躍していた井草囃子の師匠を招き、若者を集めて習わせたのが関町囃子の始まりとされています。囃子に使われる鉦には「明治五年関村囃子連中」の銘が刻まれており、当時は関村囃子と呼ばれていました。関町囃子では太鼓を（おおかん）とよび締太鼓を（しらべ）と呼びますが、更に締太鼓を「頭（かしら）」と「尻（しり）」に分けて呼びます。これに笛（とんび）と鉦（よすけ）が加わって五人囃子となります。曲調は目黒囃子の流れをくむ田淵流といわれる「中間（ちゅうま）」で演奏は「屋台」「昇殿」「鎌倉」「仕丁目」「玉入れ」「後屋台」で組まれます。平成３年度練馬区無形民俗 文化財に登録されるにあたり、平成４年２月に「関町囃子保存会」と名称を変更致しました。

関中学校ウインドアンサンブル部

　武蔵関駅北口から約１０分、新青梅街道に面した所にある学校です。ウィンドアンサンブル部は１・２・３年生３９名で活動しています。毎日の練習は大変ですが音楽・楽器が好きというメンバーなので学年をこえて仲良くがんばっています。
　地域での演奏は大好きで、今日の音楽フェスティバルにも出させていただけて嬉しいです。受験が終わったばかりの３年生も部活に戻ってきてくれました。久しぶりに３学年そろっての演奏会になります。どうぞお楽しみください。

ご支援のお礼

（五十音順）

アキダイ様、植野工務店様、
加藤自転車様、
くどうクローバークリニック様、
江南様、光沢電器様、三雄工業様、
関町病院様、東京信用金庫様、
なかざわ皮膚科様、茂木ポンプ工業様

地域の方たちと一緒に音楽を楽しむ「関町音楽フェスティバル」の開催趣旨にご賛同下さり、今日までご支援頂いた関町地域の企業・団体・事業所の皆様に心よりお礼申し上げます。ここにお名前のみ記載させて頂き感謝の意を表します。

関町音楽フェスティバル実行委員会
委員長　須藤　朔宏

ボランティア募集

関町音楽フェスティバル実行委員会の委員として企画運営に参加して下さるボランティアの方を募集します。
男女、年齢は問いません。関心のある方は下記へご連絡ください。

問い合わせ窓口：関町音楽フェスティバル実行委員会
０９０－１２６４－８８００（須藤）